

生態園のアブラムシ相

松本嘉幸¹⁾・山口剛²⁾

¹⁾ 芝浦工業大学柏高等学校
〒277 柏市増尾700

²⁾ 千葉県立中央博物館
〒260 千葉市中央区青葉町955-2

要旨 1989年6月から1992年9月までの期間、千葉県立中央博物館の生態園で33回にわたりアブラムシ相を調査した。その結果、6亜科50種のアブラムシの生息を確認できた。本論文では、それらの種名と寄生していた寄主植物の種名および寄生部位等を報告する。また、数種類のアブラムシについては、いくつかの興味ある生態的知見が得られたのでそれも記した。

キーワード: アブラムシ, 寄主植物, 生態園, 千葉県千葉市.

アブラムシ類は農地では多大な被害をもたらす害虫でありその防除のために多くの調査研究がなされている(田中, 1976)。しかし、それ以外の環境ではほとんど調査が行われていない(例外として、宗林, 1980, 1982; 山本他, 1981; 松本, 1989などがある)。今回、我々は、都市公園(千葉県立中央博物館生態園)においてアブラムシ相の調査を行った。

アブラムシ類の生活はほとんどが寄主植物上で行われ、しかも狭食性の種が多いため(青木, 1976)、ある地域内のアブラムシ相の豊富さはそこに生息している植物の多様性に強く影響されることが予想される。生態園は千葉県内の代表的な植物群落を再現、展示するために房総半島各地に生息する植物種を植栽工事などにより導入した場所である(中村他, 1990)。こうした人工的に創り出された多様な植物群落にどのようなアブラムシ群集が形成され、それがどのように変化していくかを記録していくことは、植物群集と動物群集の関連を理解するうえで興味ある事例研究になると思われる。本報告は、植栽直後からの4年間の調査によって明らかになったものである。

調査地および方法

調査は、千葉市中央区青葉町にある千葉県立中央博物館に附属する生態園の植物群落園および保存林で行った。この生態園は、1980年に移転した農林水産省畜産試験場の牧草地の跡地に作られた。保存林はクヌギ・コナラなどからなる二次林であり、畜産試験場があった頃から自生していた林である。植物群落園はタブ林、スダジイ林、アカガシ林、モミ林、アカマツ林、ススキ草地、シラカシ林、イヌシデ・コナラ林、マダケ林、湿原より構成されており、造成および植栽工事により作られた(中村他, 1990)。これらの工事

は1987年12月より始められ1989年2月に完成し一般に公開された。生態園では、開園後は自然に侵入・定着する雑草などの除去は植栽木の生長に影響する場合を除いて行っていない。また、殺虫剤・殺菌剤などの農薬類の使用もしていない。

1989年6月から1992年9月までの期間、合計33回の調査を行なった。毎回あらかじめ設定した調査ルートを歩きながら植物上にあるアブラムシのコロニーを探した。図1には調査範囲が示してある。発見したコロニーは寄主植物ごと枝・茎を切断して、ビニール袋に入れて研究室に持ち帰り、80%エチルアルコール液に浸して保存した。その後、個体ごとに10%苛性カリ液で煮沸して体の内容物を溶出した後に水洗、染色、脱水などの処置をした後にカナダバルサムにより封入し、プレパラート標本にして同定をおこなった。アブラムシの同定に使用した文献は、Eastop and Hille Ris Lambers (1976), Higuchi and Miyazaki (1969), Miyazaki (1971), Higuchi (1972), Inouye (1970), 森津 (1983), 宗林 (1975a, b, c, 1976 a, b, 1977a, b, c, d, 1978a, b, 1983)である。また寄主植物の同定は専門家に依頼し、植物の学名および和名は佐竹他 (1981, 1982a, b) 及び佐竹他 (1989a, b) に従った。

アブラムシ類リスト

生態園内で採集できたアブラムシの中で同定ができた6亜科50種を掲げた。アブラムシのモルフは特に記していない時は胎生雌虫をさす。以下のリストの中では、アブラムシの学名、採集年月日、アブラムシが寄生していた寄主植物の種名および寄生していた部位、標本番号を示してある。さらに、採集時にアリなどの随伴や寄主植物がスズ病などに感染していた場合はそ

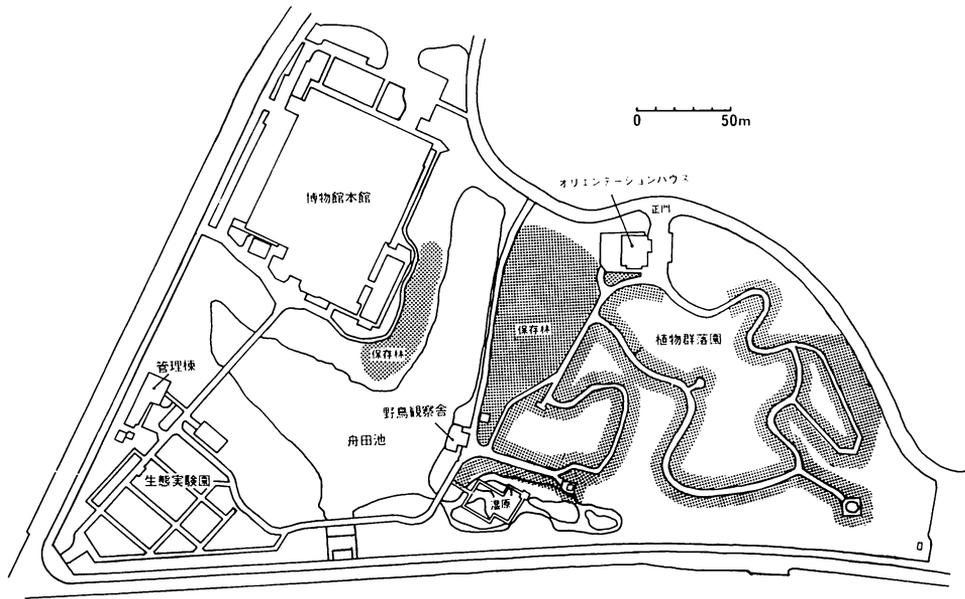


図1. 千葉県立中央博物館生態園. 灰色部分は調査範囲を示す.

これらの知見も示した。また、3種類のアブラムシについては、興味ある生態的知見が得られたのでそれも記した。なお採集された標本は現在松本が収蔵している。

Family Aphididae アブラムシ科

Subfamily Lachninae オオアブラムシ亜科

1. *Cinara formosana* (Takahashi) タイワンオオアブラムシ
1991. 5. 23: Host=*Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. アカマツ～針葉基部 [no. 91539]
2. *Cinara matsumurana* Hille Ris Lambers トドリミドリオオアブラムシ
1989. 7. 18: Host=*Abies* sp.～針葉基部; アリを伴う [no. 89713]
3. *Cinara pinidensiflorae* (Essig et Kuwana) マツノエダオオアブラムシ
1989. 12. 10: Host=*Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. アカマツ～本年枝の針葉基部; 卵生雌虫 [no. 89*04]
1991. 4. 14: Host=*P. densiflora* アカマツ～枝に群棲; 寄生部位のちかくではスス病菌が付着し枝が黒化。 [no. 91429(1)]
4. *Cinara piniformosana* (Takahashi) マツノオオアブラムシ
1989. 8. 17: Host=*Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. アカマツ～梢部 [no. 89860]
1991. 5. 23: Host=*P. densiflora* アカマツ～針葉基

- 部 [no. 91539]
1991. 6. 13: Host=*Pinus* sp.～針葉基部および小枝 [no. 91635]
5. *Cinara shinjii* Inouye ヒメコマツオオアブラムシ
1990. 3. 23: Host=*Pinus parviflora* Sieb. et Zucc. ゴヨウマツ～小枝にコロニーで寄生; アリを伴う [no. 90303]
6. *Cinara todocola* (Inouye) トドマツオオアブラムシ
1990. 5. 17: Host=*Abies homolepis* Sieb. et Zucc. ウラジロモミ～2年枝の針葉基部; アリを伴う [no.90537]
7. *Eulachnus thunbergii* (Wilson) マツノホソオオアブラムシ
1989. 10. 29: Host=*Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. アカマツ～針葉; 歩行活発 [no. 89038]
1991. 3. 14 :Host=*Pinus thunbergii* Parlatores クロマツ～針葉基部 [no.91326]
1991. 4. 14: Host=*P. densiflora* アカマツ～針葉基部 [no. 91429(2)]
1991. 4. 14: Host=*P. thunbergii* クロマツ～本年枝のシュート [no. 91438]
8. *Lachnus tropicalis* (van der Goot) クリオオアブラムシ
1989. 9. 28: Host=*Castanopsis sieboldii* (Makino) Hatusima ex Yamazaki et Mashiba スダジイ～2年枝 [no. 89941]

1990. 4. 19: Host=*C. sieboldii* スダジイ～本年枝のシュートの基部付近; アリを伴う [no. 90403]
 1990. 4. 19: Host=*Castanea crenata* Sieb. et Zucc. クリ～本年枝の基部付近 [no. 90404]
 1990. 5. 17: Host=*Quercus salicina* Blume ウラジロガシ～小枝 [no. 90531]
 1990. 8. 16: Host=*Q. acuta* Thunb. ex Murray アカガシ～本年枝の小枝 [no. 90823]
 1990. 9. 13: Host=*Q. acuta* アカガシ～枝; アリを伴う [no. 90921]
 1991. 6. 13: Host=*C. sieboldii* スダジイ～枝; アリを伴う [no. 91632(1)]
 1991. 7. 7: Host=*C. sieboldii* スダジイ～小枝; アリを伴う [no. 91704]
9. *Stomaphis yanonis* Takahashi ヤノクチナガオアブラムシ
 1990. 7. 1: Host=*Cellis sinensis* Pers. var. *japonica* (Planch.) Nakai エノキ～樹皮; アリを伴う [no. 90711]
 1990. 7. 31: Host=*C. sinensis* エノキ～樹皮; アリを伴う [no. 907116+no. 907117]
 1990. 8. 16: Host=*C. sinensis* エノキ～樹皮; アリを伴い蟻道を形成 [no. 90822]
 1990. 11. 22: Host=*C. sinensis* エノキ～樹皮; アリを伴い蟻道を形成. 無翅卵生雌虫と無翅雄虫 [no. 90×44]
 1991. 5. 23: Host=*C. sinensis* エノキ～樹皮; 翅芽を持った幼虫が見られる [no. 91532]
 1991. 6. 13: Host=*C. sinensis* エノキ～樹皮 [no. 91642]
 1991. 9. 23: Host=*C. sinensis* エノキ～樹皮; アリを伴い蟻道を形成 [no. 91942]
 5月下旬にコロニー内に有翅虫が出現するが、調査時に攪乱してもわずかに幹上を歩行するだけだった。この有翅虫の翅はあまり長くなく体長とほぼ同じだ。しかも、腹部が著しく肥大しているので長距離の飛翔はできないのではないだろうか。また、1990年11月22日の調査時、蟻道内で褐色の無翅卵生雌虫と暗緑色の無翅雄虫が交尾をしているのが観察できた。
- Subfamily Aphidinae アブラムシ亜科**
- Tribe Aphidini アブラムシ族
10. *Aphis commelinae* Shinji ツククサアブラムシ
 1989. 8. 17: Host=*Commelina communis* L. ツククサ～苞および葉身付近 [no. 89862]
11. *Aphis craccivora pseudoacaciae* Takahashi ハリエンジュアブラムシ
 1991. 6. 13: Host=ハリエンジュ *Robinia pseudoacacia* L. ～新梢の先端、葉軸・葉裏に群棲 [no. 91650]
12. *Aphis egomae* Shinji エゴマアブラムシ
 1989. 9. 28: Host=*Perilla frutescens* (L.) Britton var. *frutescens* エゴマ～花穂付近; 葉が縮れる [no. 89939]
13. *Aphis horii* Takahashi ホリニワトコアブラムシ
 1989. 11. 30: Host=*Sambucus racemosa* L. supsp. *sieboldiana* (Miq.) Hara ニワトコ～葉裏; 卵生雌虫 [no. 89×34]
 1991. 6. 13: Host=*S. racemosa* ニワトコ～葉軸基部付近 [no. 91640]
 1991. 7. 7: Host=*S. racemosa* ニワトコ～葉軸および葉裏; アリを伴う [no. 91708]
14. *Aphis nerii* Boyer de Fonscolombe キョウチクトウアブラムシ
 1991. 9. 23: Host=*Metapolexis japonica* (Thunb.) Makino ガガイモ～蔓 [no. 91945]
15. *Hyalopterus pruni* (Geoffroy) モモコフキアブラムシ
 1989. 10. 29: Host=*Phragmites communis* Trin. ヨシ～葉裏 [no. 89036]
 1991. 5. 23: Host=*P. communis* ヨシ～葉身 [no. 91536]
 1991. 6. 13: Host=*P. communis* ヨシ～葉身 [no. 91644]
16. *Melanaphis bambusae* (Fullaway) タケノアブラムシ
 1989. 8. 17: Host=*Pleioblastus chino* (Franch. et Savat.) Makino アズマネザサ～葉身 [no. 89864]
 1989. 11. 30: Host=*P. chino* アズマネザサ～葉身; アリを伴う [no. 89×35]
 1990. 10. 21: Host=*P. chino* アズマネザサ～葉身 [no. 90062]
 1991. 9. 23: Host=*P. chino* アズマネザサ～葉身; アリを伴う [no. 91944]
17. *Melanaphis japonica* (Takahashi) ススキノアブラムシ
 1990. 7. 31: Host=*Miscanthus sinensis* Anderss. ススキ～葉身基部; アリを伴う [no. 907114]
18. *Schizaphis rotundiventris* (Signoret) ショウブアブラムシ
 1992. 9. 13: Host=*Typha orientalis* Presl コガマ～葉身; アリを伴う [no. 92909]
- Tribe Macrosiphini ヒゲナガアブラ族
19. *Acyrtosiphon kondoi* Shinji et Kondo コンドウヒゲナガアブラムシ
 1990. 4. 19: Host=*Trifolium pratense* L. ムラサキツメクサ～葉柄および葉裏 [no. 90411]

1991. 5. 23: Host = *T. pratense* ムラサキツメクサ～花柄および葉裏 [no. 91545]
 1991. 6. 13: Host = *T. pratense* ムラサキツメクサ～花柄付近 [no. 91637]
20. *Aulacortum magnoliae* (Essig et Kuwana) ニワトコヒゲナガアブラムシ
 1989. 11. 30: Host = *Sambucus racemosa* L. supsp. *sieboldiana* (Miq.) Hara ニワトコ～葉裏 [no. 89×40(1)～(3)]
 1990. 3. 8: Host = *S. racemosa* ニワトコ～新葉の裏に群棲; 体色に2系統(黄緑色+黄緑色がかったオレンジ色の無翅胎生雌虫が出現 [no. 90301(1)～(2)]
 1991. 3. 14: Host = *S. racemosa* ニワトコ～花梗付近 [no. 91324]
 1991. 4. 14: Host = *S. racemosa* ニワトコ～葉裏に群棲; 有翅胎生雌虫の幼虫が多数出現 [no. 91440]
21. *Aulacortum nipponicum* (Essig et Kuwana) ヘクソカズラノヒゲナガアブラムシ
 1990. 5. 17: Host = *Paederia scandens* (Lour.) Merrill ヤイトバナ～葉裏 [no. 90520]
22. *Aulacortum (Perillaphis) perillae* (Shinji) シンヒゲナガアブラムシ
 1989. 10. 29: Host = *Perilla frutescens* (L.) Britton var. *frutescens* エゴマ～花穂 [no. 89042]
23. *Capitophorus cirsiophagus* Takahashi ノアザミクギケアブラムシ (新称)
 1989. 11. 30: Host = *Cirsium* sp. [no. 89×37(1)]
24. *Capitophorus elaeagni* (del Guercio) ゴボウクギケアブラムシ
 1991. 5. 23: Host = *Hemistepta lyrata* Bunge キツネアザミ～花梗 [no. 91535]
25. *Cavariella gilbertiae* Takahashi カクレミノフタオアブラムシ
 1991. 5. 23: Host = *Dendropanax trifidus* (Thunb.) Makino カクレミノ～葉裏 [no. 91529]
 1991. 5. 23: Host = *D. trifidus* カクレミノ～葉裏および葉表 [no. 91534]
26. *Hyperomyzus lactucae* (Linnaeus) チシャミドリアブラムシ
 1990. 4. 19: Host = *Sonchus oleraceus* L. ノゲシ～花柄基部付近, 茎や托葉 [no. 90406(1)]
 1990. 5. 17: Host = *S. oleraceus* ノゲシ～花柄付近や托葉 [no. 90534]
27. *Macchiatiella itadori* (Shinji) イタドリオマルアブラムシ
 1989. 10. 29: Host = *Reynoutria japonica* Houtt イタドリ～葉裏に群棲 [no. 89027(1)～(2)]
28. *Macrosiponiella yomogicola* (Matsumura) ヨモギヒメヒゲナガアブラムシ
 1991. 7. 7: Host = *Artemisia princeps* Pamp. ヨモギ～葉裏 [no. 91709]
29. *Macrosiponiella yomogifoliae* (Shinji) アオヒメヒゲナガアブラムシ
 1989. 10. 29: Host = *Artemisia princeps* Pamp. ヨモギ～茎 [no. 89032]
 1990. 4. 19: Host = *A. princeps* ヨモギ [no. 90412]
30. *Megoura lespezuae* (Essig et Kuwana) ハギオナガヒゲナガアブラムシ
 1989. 10. 29: Host = *Lespedeza* sp. ～花柄付近や葉柄 [no. 89031(1)]
31. *Myzus (Nectarosiphon) persicae* (Sulzer) モモアカアブラムシ
 1991. 4. 14: Host = *Petasites japonicus* (Sieb. et Zucc.) Maxim. フキ～花穂 [no. 91430]
 1991. 4. 14: Host = *Reynoutria japonica* Houtt イタドリ～新葉の裏 [no. 91434]
32. *Sitobion akebiae* (Shinji) ムギヒゲナガアブラムシ
 1990. 4. 19: Host = *Akebia trifoliata* (Thunb.) Koidz. ミツバアケビ～葉裏や蔓 [no. 90405(2)]
 1991. 4. 14: Host = *Akebia quinata* (Thunb.) Decaisne アケビ～葉裏 [no. 91427]
33. *Sitobion ibarae* (Matsumura) イバラヒゲナガアブラムシ
 1990. 3. 23: Host = *Rosa multiflora* Thunb. ノイバラ～新葉葉裏 [no. 90308]
 1991. 5. 23: Host = *R. multiflora* ノイバラ [no. 91543]
 1991. 6. 13: Host = *R. multiflora* ノイバラ～茎の先端や葉裏に群棲 [no. 91638]
34. *Trichosiphonaphis lonicerae* (Uye) スイカズラヒゲナガアブラムシ
 1990. 3. 23: Host = *Lonicera japonica* Thunb. スイカズラ～本年枝の蔓 [no. 90313]
 1991. 4. 14: Host = *L. japonica* スイカズラ～蔓・葉柄基部付近 [no. 91428]
 1991. 5. 23: Host = *L. japonica* スイカズラ～蔓や葉裏 [no. 91550]
 1991. 6. 13: Host = *L. japonica* スイカズラ～蔓; アリを伴う [no. 91646]
35. *Trichosiphonaphis (Xenomyzus) ishimikawae* (Shinji) イシミカワイボアブラムシ
 1989. 9. 28: Host = *Persicaria perfoliata* (L.) H. Gross イシミカワ～托葉付近 [no. 89932]
 1989. 10. 29: Host = *P. perfoliata* イシミカワ～葉柄および葉裏・托葉 [no. 89040]
36. *Tuberocephalus sakurae* (Matsumura) サクラコブアブラムシ

1991. 4. 14: Host=*Prunus* sp. サクラの1種~葉の gall; 葉が黄変 [no. 91439]
 1991. 5. 23: Host=*Prunus* sp. サクラの1種~葉縁が縦軸方向で内側に巻く gall; 葉が白変. [no. 91551]
37. *Uroleucon formosanum* (Takahashi) タイワンヒゲナガアブラムシ
 1989. 9. 28: Host=*Lactuca indica* L. アキノノゲシ~茎の先端の節間に群棲; アリを伴う. [no. 89933(1)~(2)]
 1990. 7. 31: Host=*L. indica* アキノノゲシ~葉裏 [no. 907120]
 1990. 9. 13: Host=*L. indica* アキノノゲシ~茎に群棲 [no. 90923]
 1991. 5. 23: Host=オキノゲシ~葉裏および茎の節間に群棲 [no. 91528(1)]
 1991. 6. 13: Host=*L. indica* アキノノゲシ~葉裏 [no. 91639]
38. *Uroleucon (Uromelan) cephalonopli* (Takahashi) アザミクロヒゲナガアブラムシ (改称)
 1989. 10. 29: Host=*Cirsium nipponicum* (Maxim.) Makino var. *comosum* (Franch. et Savat.) Kitam. イガアザミ~茎 [no. 89029(1)]
39. *Uroleucon* sp. セイタカアワダチソウノヒゲナガアブラムシ
 1991. 6. 13: Host=*Solidago altissima* L. セイタカアワダチソウ~茎 [no. 91633]
 1991. 7. 7: Host=*S. altissima* セイタカアワダチソウ~葉裏 [no. 91706]
 1991. 8. 31: Host=*S. altissima* セイタカアワダチソウ~茎 [no. 918142]
 本種の千葉県内での発見は、1991年6月13日に生態園内で採集されたのが最初である。その後の調査で、千葉県内の東葛・南房総地域および茨城県筑波市や神奈川県横浜市でも生息が確認された(松本, 1993a)。現在専門家に同定を依頼中である。本種は、セイタカアワダチソウ上で周年過ごし、寄主転換は行わない。春と秋には目立つが、夏にはコロニーサイズが小さくなりほとんど見られない。千葉県では、単性世代で越冬するものと卵で越冬するものの2つがある(松本, 未発表データ)。
- Subfamily Drepanosiphinae**
マダラアブラムシ亜科
40. *Machilaphis machili* (Takahashi) タブノキハアブラムシ
 1989. 7. 18: Host=*Machilus thunbergii* Sieb. et Zucc. タブノキ~葉裏 [no. 89723]
 1989. 9. 28: Host=*M. thunbergii* タブノキ~葉裏 [no. 89936]
1989. 10. 29: Host=*M. thunbergii* タブノキ~葉裏 [no. 89039]
 1989. 11. 30: Host=*M. thunbergii* タブノキ~葉裏 [no. 89×42]
 1989. 12. 10: Host=*M. thunbergii* タブノキ~葉裏 [no. 89*12]
 1991. 1. 15: Host=*M. thunbergii* タブノキ~葉裏 [no. 91103]
 1991. 6. 13: Host=*M. thunbergii* タブノキ~葉裏 [no. 91649]
 1991. 9. 23: Host=*M. thunbergii* タブノキ~葉裏 [no. 91943]
 本種は、周年タブノキ上におり、単性世代のみが出現した。
41. *Neochromaphis carpinicora* (Takahashi) イヌシデクロマダラアブラムシ
 1991. 5. 23: Host=*Carpinus tschonoskii* Maxim. イヌシデ~小枝および葉柄 [no. 91541]
42. *Neophyllaphis podocarpi* Takahashi マキシソハアブラムシ
 1990. 11. 22: Host=*Podocarpus macrophyllus* (Thunb.) D. Don イヌマキ~新梢基部および葉裏 [no. 90×49]
43. *Shivaphis celti* Das エノキワタアブラムシ
 1990. 8. 16: Host=*Celtis sinensis* Pers. var. *japonica* (Planch.) Nakai エノキ~葉裏 [no. 90824]
 1991. 7. 7: Host=*C. sinensis* エノキ~葉裏 [no. 91702]
44. *Takecallis arundicolens* (Clarke) タケヒゲマダラアブラムシ
 1991. 5. 23: Host=*Pleiblastus chino* (Franch. et Savat.) Makino アズマネザサ~葉身 [no. 91537]
- Subfamily Hormaphidinae**
ヒラタアブラムシ亜科
45. *Aleurodaphis blumeae* van der Goot ヤブタバコナジラミモドキ
 1992. 9. 13: Host=*Carpesium abrotanoides* L. ヤブタバコ~葉裏や花蕾 [no. 92910]
46. *Ceratovacuna japonica* (Takahashi) ササコナフキツノアブラムシ
 1990. 9. 13: Host=*Pleiblastus chino* (Franch. et Savat.) Makino アズマネザサ~葉身 [no. 90917]
 1991. 6. 13: Host=*P. chino* アズマネザサ~葉身 [no. 91641(2)]
47. *Ceratovacuna nekoashi* (Sasaki) エゴノネコアシアブラムシ
 1991. 7. 7: Host=*Styrax japonica* Sieb. et Zucc. エゴノキ~側芽の gall [no. 91705]
48. *Nipponaphis (Pseudonipponaphis) machiliphaga*

Takahashi タブノキムネアブラムシ
1990. 7. 31: Host=*Machilus thunbergii* Sieb. et
Zucc. タブノキ〜小枝 [no. 907115]

Subfamily Mindarinae

ハトジワタムシ亜科

49. *Mindarus japonicus* Takahashi トドワタムシ
1990. 5. 17: Host=*Abies homolepis* Sieb. et Zucc.
ウラジロモミ〜2年枝の針葉基部; アリを伴う
[no. 90537]
1991. 5. 23: Host=*Abies firma* Sieb. et Zucc. モ
ミ〜針葉 [no. 91538]

Subfamily Pemphiginae

タマワタムシ亜科

50. *Paracolopha morrisoni* (Baker) ケヤキヒトスジ
ワタムシ
1990. 5. 17: Host=*Zelkova serrata* (Thunb.) Ma-
kino ケヤキ〜葉表にゴール [no. 90538(1)]

考 察

ここで、報告した結果は主に生態園開園直後からの
2年間に行われたものであるが、すでに50種ものア
ブラムシの生息が確認できた。これらのアブラムシの
多くは有翅虫の侵入・定着によるものだと思われる
が、一部は、植物の導入時に寄生植物に付着してい
たのかもしれない。

今回の調査により千葉県内で生息することが初めて
確認された種が21種含まれている。千葉県内に生息
することがすでに報告されている53種(松本, 1991,
1992, 1993b; 千葉県自然誌資料調査会動物班,
1993)と併せると74種が千葉県内に生息している
ことになる。しかし、県内には調査されていない地域が
多くあり、今後調査が進めばさらに多くの種の生息が
確認されると思われる。

謝 辞

植物の同定に際し、千葉県立中央博物館の大野啓一
博士、平田和弘氏および千葉県立中央博物館友の会の
岩瀬 徹氏の手を煩わせた。心よりお礼申し上げます。
また、原稿を校閲していただいた東京農業大学の黒須
詩子博士と立正大学の青木重幸博士に深く感謝いたし
ます。

引用文献

- 青木重幸. 1976. アブラムシの移住の起源に関する Mor-
dvilko の理論, *Rostria* 26, 189-197.
Eastop, V. F. and D. Hille Ris Lambers. 1976. Survey of
the World's Aphids, 573 pp. Dr. W. Junk b. v., Pub-
lishers, The Hague.
Higuchi, H. and M. Miyazaki. 1969. A tentative cata-

logue of host plants of Aphidoidea in Japan, *Insecta*
Matsum., suppl. 5: 1-66.

Miyazaki, M. 1971. A revision of the tribe Macrosiph-
ini of Japan, (Homoptera: Aphididae, Aphidinae) *In-*
secta Matsum. 34(1): 1-247.

Higuchi, H. 1972. A taxonomic study of the subfamily
Callipterinae in Japan (Homoptera: Aphididae), *In-*
secta Matsum. 35: 19-126.

Inouye, M. 1970. Revision of the Conifer Aphid Fauna
of Japan (Homoptera, Lachnidae), *Bulletin of the*
Government Forest Experiment Station, No. 228:
57-102.

松本嘉幸. 1989. 半翅類(3)アブラムシ類 戸田市動物
誌: 247-254. 戸田市郷土博物館.

松本嘉幸. 1991. 千葉県産アブラムシ標本リスト 千葉
県自然誌資料調査会 平成2年度標本収集動物・植物
標本目録: 67-71.

松本嘉幸. 1992. 千葉県産アブラムシ類採集標本 千葉
県自然誌資料調査会 平成3年度標本収集動物・植物
標本目録: 60-62.

松本嘉幸. 1993a. 日本産アブラムシ上科の生活史の解明
(その2) 芝浦工業大学教員研究報告書 平成3・4年
度版: 153-155.

松本嘉幸. 1993b. アブラムシ標本リスト 千葉県自然誌
資料調査会 平成4年度標本収集動物・植物標本目録:
49-52.

森津孫四郎. 1983. 日本原色アブラムシ図鑑. 545 pp. 全
農教.

中村俊彦・大野啓一・長谷川雅美・桑原和之・占部城太
郎・由良 浩・平田和弘・山口 剛. 1990. 千葉県立
中央博物館生態園とその管理・運営 MUSEUM ちば
21: 62-71.

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・巨理俊次・富成忠夫
(編). 1981. 日本の野生植物 草本 III, 259 pp. 平凡
社, 東京.

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・巨理俊次・富成忠夫
(編). 1982a. 日本の野生植物 草本 I, 305 pp. 平凡
社, 東京.

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・巨理俊次・富成忠夫
(編). 1982b. 日本の野生植物 草本 II, 318 pp. 平凡
社, 東京.

佐竹義輔・原 寛・巨理俊次・富成忠夫(編). 1989a.
日本の野生植物 木本 I, 305 pp. 平凡社, 東京.

佐竹義輔・原 寛・巨理俊次・富成忠夫(編). 1989b.
日本の野生植物 木本 II, 321 pp. 平凡社, 東京.

宗林正人. 1975a. 樹木に寄生するアブラムシ(1) 森林防
疫 24: 154-157.

宗林正人. 1975b. 樹木に寄生するアブラムシ(2) 森林防
疫 24: 218-224.

宗林正人. 1975c. 樹木に寄生するアブラムシ(3) 森林防
疫 24: 235-240.

宗林正人. 1976a. 樹木に寄生するアブラムシ(4) 森林防
疫 25: 16-23.

宗林正人. 1976b. 樹木に寄生するアブラムシ(5) 森林防
疫 25: 46-51.

宗林正人. 1977a. 樹木に寄生するアブラムシ(6) 森林防
疫 26: 4-13.

宗林正人. 1977b. 樹木に寄生するアブラムシ(7) 森林防
疫 26: 51-58.

宗林正人. 1977c. 樹木に寄生するアブラムシ(8) 森林防
疫 26: 102-107.

宗林正人. 1977d. 樹木に寄生するアブラムシ(9) 森林防

- 疫 26: 152-157.
宗林正人. 1978a. 樹木に寄生するアブラムシ(10) 森林防疫 27: 90-95.
宗林正人. 1978b. 樹木に寄生するアブラムシ(11) 森林防疫 27: 183-191.
宗林正人. 1980. 神宮境内地のアブラムシ 伊勢神宮境内昆虫調査報告書 275-287.
宗林正人. 1982. 尾鷲市街地周辺のアブラムシ相 尾鷲地域野生生物調査報告書 443-436.
宗林正人. 1983. 日本のアブラムシ. 118 pp. ニューサイエンス社.
田中 正. 1976. 野菜のアブラムシ. 220 pp. 日本植物防疫協会.
千葉県自然誌資料調査会. 1993. 高宕山の動物相. 千葉生物誌 42: 43-54.
山本道也・東 正剛・日野水仁・星川和夫・中野 進・大久保利道・大谷 剛・戸田正憲. 1981. 北海道大学苫小牧地方演習林のアブラムシ相 北海道大学農学部演習林研究報告 38(2): 219-240.

Survey of Aphid Fauna at the Ecology Park of Natural History Museum and Institute, Chiba

Yoshiyuki Matsumoto¹⁾ and Takeshi Yamaguchi²⁾

¹⁾ Shibaura Institute of Technology Kashiwa High School, 700 Masuo, Kashiwa 277, Japan

²⁾ Natural History Museum and Institute, Chiba 955-2 Aoba-cho, Chuo-ku, Chiba 260, Japan

Aphid fauna was investigated in restored plant communities at the Ecology park of Natural History Museum and Institute, Chiba (Chiba City) from 1989 to 1992. As a result, 50 species were found. A list of the aphid species, together with their host plants and ecological information, is given.